

令和元年度事業報告

◆事業概要

少子高齢化の進展、家族形態の変容、雇用形態の多様化、近隣関係の希薄化などを背景に、支援を必要とする高齢者、障がい者、生活困窮者等が増加するとともに、子どもの貧困や社会的孤立といった新たな福祉課題も顕在化するなど、福祉に対するニーズは多様化し増大しています。

このような状況のなか、本会では、潜在化しやすい様々な福祉課題を抱えながら地域で暮らしている人を深刻な状況になる前に発見し支えるため、地域における見守り、助け合いを推進し、地域社会の中で課題を解決する仕組みとして地区社協活動を推進し、さらに、相談事業では、関係機関との連携による常に寄り添った支援が出来るようにネットワーク体制の充実に務めました。

引き続き、市民や各団体の皆さまのご協力のもと、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会の実現に取り組んでまいります。

1. 法人運営の基盤整備

①理事会・評議員会の開催

社協の運営・経営管理上の重要事項や適切な事業執行・基本方針等の決定を行うため、理事会・評議員会を開催しました。開催状況は下記のとおりです。

<理事会>

第1回 令和元年6月7日

議決事項

- 評議員候補者の選出について
- 評議員選任解任委員の選任について
- 就業規則の一部改正について
- 臨時、嘱託職員就業規則の全部改正について
- 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
- サポートセンター竹とんぼ運営規程の一部変更について
- 福祉バス運行管理規程及び福祉バス利用規則の全部改正について
- 専決処分の承認を求めることについて
- 平成30年度事業報告について
- 平成30年度一般会計収支決算報告について
- 令和元年度第1回評議員の招集について

第2回 令和元年7月1日

議決事項

- 会長・副会長の選任について



第3回 令和2年1月29日

議決事項

- 評議員候補者の選出及び評議員選任解任委員会の招集について
- 令和元年度一般会計収支補正予算について
- 令和元年度第2回評議員会の招集について

第4回 令和2年3月23日

- 評議員選任解任委員の選任について
- 給与規程の一部改正について
- 令和2年度事業計画について
- 令和2年度一般会計収支予算について
- 令和元年度第3回評議員の招集について



<評議員会>

第1回 令和元年6月26日

議決事項

- 理事の選任について
- 就業規則の一部改正について
- 臨時、嘱託職員就業規則の全部改正について
- 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
- サポートセンター竹とんぼ運営規程の一部変更について
- 福祉バス運行管理規程及び福祉バス利用規則の全部改正について
- 専決処分の承認を求めることについて
- 平成30年度事業報告について
- 平成30年度一般会計収支決算報告について

第2回 令和2年2月13日

議決事項

- 理事の選任について
- 令和元年度一般会計収支補正予算について

第3回 令和2年3月31日

議決事項

- 給与規程の一部改正について
- 令和2年度事業計画について
- 令和2年度一般会計収支予算について

2. 財源の確保

① 会員制度の推進と寄付金について

社会福祉協議会（以下、社協）の重要な財源の一つが、市民の方々などから寄せられた会費や寄付です。こうした財源は、社協が民間組織として活気ある運営と事業の推進に欠かすことのできないものです。

過去16年間の会員数の状況

年 度	住民会費 (500円/口)	賛助会費 (2,000円/口)	施設団体会費 (5,000円/口)	特別賛助会費 (5,000円以上)
平成16年度	7,257世帯	83事業所	9施設・団体	
平成17年度	7,279世帯	78事業所	10施設・団体	
平成18年度	7,205世帯	72事業所	14施設・団体	
平成19年度	7,165世帯	74事業所	13施設・団体	
平成20年度	7,126世帯	75事業所	18施設・団体	24名
平成21年度	7,051世帯	79事業所	20施設・団体	22名
平成22年度	6,869世帯	74事業所	21施設・団体	22名
平成23年度	6,910世帯	75事業所	22施設・団体	20名
平成24年度	6,838世帯	74事業所	21施設・団体	15名
平成25年度	6,778世帯	76事業所	18施設・団体	18名
平成26年度	6,578世帯	72事業所	22施設・団体	15名
平成27年度	6,595世帯	72事業所	23施設・団体	15名
平成28年度	6,481世帯	70事業所	23施設・団体	4名
平成29年度	6,388世帯	73事業所	24施設・団体	2名
平成30年度	6,307世帯	89事業所	24施設・団体	2名
令和元年度	6,186世帯	81事業所	22施設・団体	2名

過去16年間の香典返し・寄付金の状況

年 度	香典返し寄付	一般寄付
平成16年度	6,375,000円	789,918円
平成17年度	5,690,000円	363,370円
平成18年度	6,053,000円	307,918円
平成19年度	4,970,000円	168,883円
平成20年度	5,075,000円	103,560円
平成21年度	5,040,000円	244,852円
平成22年度	4,833,000円	295,458円
平成23年度	4,735,000円	302,908円
平成24年度	5,480,000円 (242件)	1,134,844円 (金銭742,244円、物品392,600円)
平成25年度	4,515,000円 (219件)	353,410円 (金銭260,027円、物品93,383円)

平成26年度	4,426,000円 (219件)	384,072円 (金銭63,272円、物品320,800円)
平成27年度	3,460,000円 (185件)	353,981円 (金銭37,981円、物品316,000円)
平成28年度	3,227,000円 (162件)	267,575円 (金銭220,943円、物品46,632円)
平成29年度	2,496,000円 (140件)	1,403,119円 (金銭113,231円、物品1,289,986円)
平成30年度	2,133,000円 (141件)	152,187円 (金銭144,448円、物品7,739円、)
令和元年度	2,300,000円 (156件)	194,935円 (金銭181,975円、物品12,960円)

3. 保健福祉ゾーン構想の推進に伴う総合相談窓口の充実

津久見市の保健福祉ゾーン構想の一翼を担い、保健福祉に関する相談窓口の一元化を推進しました。



① 24時間365日対応総合相談窓口事業

土日祝日・夜間等に対応した相談等の実績

期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日集計

部署	平日 夜間早朝 18:00~0:00 6:00~8:00	平日 深夜 0:00~6:00	土日祝祭日 日中 8:00~18:00	土日祝祭日 夜間早朝 18:00~0:00 6:00~8:00	土日祝日 深夜 0:00~6:00	相談件数 合計	対応内容		
	電話による 相談対応	現場にて、 緊急対応	問い合わせ・ 連絡調整						
地域班 (前年度)	12件 (48件)	1件 (0件)	64件 (64件)	4件 (8件)	0件 (0件)	81件 (120件)	38件 (48件)	0件 (2件)	43件 (70件)
竹とんぼ (前年度)	13件 (20件)	0件 (0件)	28件 (28件)	1件 (1件)	0件 (0件)	42件 (49件)	12件 (9件)	2件 (1件)	28件 (39件)
包括 (前年度)	31件 (20件)	3件 (0件)	117件 (95件)	12件 (10件)	0件 (0件)	163件 (125件)	72件 (45件)	2件 (4件)	89件 (76件)
合計 (前年度)	88件 (88件)	4件 (0件)	209件 (187件)	17件 (19件)	0件 (0件)	286件 (294件)	122件 (102件)	4件 (7件)	160件 (185件)

生活全般の困りごと相談（離婚・相続・債務等）は、職員で対応し適切な機関へつなげました。

No	相談内容	H30 件数	R1 件数	No	相談内容	H30 件数	R1 件数
1	生計について	3	5	11	成年後見制度等について	3	2
2	年金について	0	0	12	人権・法律について	1	0
3	職業・生業について	0	0	13	財産について	0	1

4	住宅について	2	0	14	ストーカー・DVについて	0	0
5	家族について	0	0	15	児童について	1	1
6	結婚・離婚について	0	0	16	教育・青少年について	0	0
7	消費者トラブルについて	3	0	17	母子・父子について	0	0
8	ご近所トラブルについて	2	2	18	苦情について	0	0
9	健康・衛生について	0	1	19	その他（情報提供等）	5	6
10	医療について	0	0	合 計		20	18

※福祉制度や社協業務に関する相談は、計上しておりません。

※包括・竹とんぼに関する相談は、別紙にて計上しております。

②専門相談日の充実

複雑多様化する市民の方々からの相談に対処するため、専門相談日を設置し、ニーズに即した相談体制の充実を図りました。

	法テラスによる 法律相談		鳥越弁護士による 法律相談		民生委員による 心配ごと相談		司法書士による 法律相談	
	H30年度	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度	R1年度	H30年度	R1年度
4月	0	0	1	2	0	0	0	2
5月	0	1	2	2	0	0	2	2
6月	0	1	1	1	1	0	2	1
7月	2	0	3	1	0	1	3	0
8月	0	0	3	1	0	0	1	0
9月	3	1	0	0	0	0	5	3
10月	2	0	0	2	0	0	1	2
11月	1	1	1	2	1	0	0	2
12月	2	3	2	0	0	1	2	0
1月	0	1	3	2	0	0	1	2
2月	0	8	1	3	0	0	3	3
3月	1	3	1	0	1	0	1	0
合 計	11	19	18	16	3	2	21	17

③市民ふれあい交流センターの運営

市民ふれあい交流センターは、地域福祉活動の拠点として様々な事業に活用しました。

	大会議室		調理室兼中会議室		ボランティアセンター兼小会議室		談話室	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
4月	16回	402名	2回	15名	20回	156名	26回	75名
5月	20回	463名	2回	0名	17回	153名	16回	28名
6月	27回	587名	1回	0名	16回	122名	17回	37名
7月	23回	558名	2回	0名	17回	144名	13回	19名
8月	22回	494名	2回	0名	11回	86名	12回	32名
9月	23回	485名	4回	10名	20回	113名	14回	16名

10月	21回	466名	3回	7名	13回	122名	13回	44名
11月	26回	574名	2回	0名	14回	128名	15回	28名
12月	19回	510名	4回	0名	15回	87名	16回	31名
1月	15回	264名	4回	2名	11回	111名	12回	24名
2月	16回	343名	2回	0名	16回	122名	13回	37名
3月	4回	73名	0回	0名	5回	23名	4回	15名
合計	232回	5,219名	28回	34名	175回	1,367名	171回	386名

30年度	243回	5,738名	39回	79名	237回	1,968名	177回	389名
------	------	--------	-----	-----	------	--------	------	------

※コロナウイルス感染防止のため、2月下旬より会議室の利用を制限しました。

4. 地域福祉事業の推進

住民同士が連絡・連携をしながら、お互いの生活を支え合っていくための活動や仕組み（地区社協）を、それぞれの地域に合った形で取り組みを行えるように懇談会を開催しました。

①地区社協による懇談会・交流会の開催状況（令和元年度21回）

日付	自治会名	場所	内容
4月2日	川内区	川内区公民館	総会・懇談
4月9日	千怒区	千怒区公民館	総会・懇談
4月12日	青江区	青江公民館	総会・懇談
4月14日	畑区	岩屋口公民館	総会・懇談
4月19日	網代区	真珠作業所	総会・懇談
4月26日	川上区	地蔵町集会所	総会・懇談
5月8日	彦ノ内区	彦ノ内公会堂	総会・懇談
5月15日	日見区	日見公民館	総会・懇談
5月19日	長目区	長目公民館	総会・懇談
5月20日	警固屋区	警固屋区公民館	総会・懇談
5月23日	徳浦区	徳浦公民館	総会・懇談
6月25日	四浦2区深良津	深良津健康管理センター	ネットワーク会議
6月26日	四浦2区刀自ヶ浦	警固屋区公民館	ネットワーク会議
6月28日	川上区	志手町公民館	研修会
9月10日	日見区	日見公民館	ネットワーク会議
10月29日	川上区	ふれあい交流センター	子供会消防団研修会
11月14日	八戸区	八戸公民館	懇談(カフェ)
1月16日	地蔵町サロン	地蔵町集会所	懇談(サロン)
1月20日	桜ヶ瀬新町サロン	桜ヶ瀬公民館	懇談(サロン)
2月7日	川上区	志手町公民館	定例会
2月26日	小園町	小園会館	懇談会



(川上区社協総会)



(四浦2区ネットワーク会議)

②地区社協設立状況（令和元年度）

No	地区社協名	設 立
1	地区社協青江	21年4月設立
2	地区社協福良	21年6月設立
3	地区社協四浦6	22年4月設立
4	地区社協徳浦	22年4月設立
5	地区社協警固屋	22年4月設立
6	地区社協網代	22年4月設立
7	地区社協江ノ浦	22年4月設立
8	地区社協赤崎	22年4月設立
9	地区社協川上	22年7月設立
10	地区社協日見	22年7月設立
11	地区社協千怒	22年10月設立
12	地区社協無垢島	22年12月設立
13	地区社協四浦1	23年2月設立
14	地区社協四浦2	23年2月設立
15	地区社協堅浦	23年3月設立
16	地区社協川内	23年4月設立
17	地区社協入船	23年4月設立
18	地区社協西ノ内	23年4月設立
19	地区社協長目	23年8月設立
20	地区社協畑	23年10月設立
21	地区社協中田	23年10月設立
22	地区社協岩屋	24年3月設立
23	地区社協四浦3	24年9月設立
24	地区社協保戸島	24年9月設立
25	地区社協宮本	25年4月設立
26	地区社協彦ノ内	25年5月設立



（青江地区社協総会）



（千怒地区社協総会）



（日見地区社協総会）

③視察の受け入れ

- (1)令和元年6月11日 下堅田校区社協が視察（職員対応）
- (2)令和元年8月27日 佐賀市校区社協が視察（職員対応）



下堅田校区社協



佐賀市校区社協

④ふれあいいきいきサロン事業

「ふれあいいきいきサロン」とは、小地域を拠点に、住民同士のつながりや絆を深めたり、高齢者等の孤立や閉じこもりの予防、生きがいづくり等を目的として進める活動です。

※ふれあいいきいきサロン事業の実績は別に掲載しています。

⑤ふれあい出前講座

知識や知恵、技術をもつ市民の方々に講師として社協に登録いただき、地区での研修やふれあいいきいきサロン等の講師として、派遣を行いました。

令和元年度 講師登録者：現在 32名・団体（無料）昨年度36

No	社協ふれあい出前講座メニュー	
	講座内容	講師
1	健康講座（心と体の健康） レクリエーション指導	藤沢忠生（僧侶）
2	障がいと子育て支援について	NPO法人やまびこ理事 倉原英樹
3	紙芝居・朗読・紙工作等	図書館ボランティアたんぽぽ 福田由美子
4	お気軽健康体操	健康運動指導士 内田弘美
5	高齢者のための交通安全	津久見市交通安全推進協議会
6	交通安全教室	津久見市交通安全協会
7	うつ病・心の病について	精神保健福祉士 下田憲子
8	「尊い命」など	小田恭壽
9	おへまの介護保険	介護支援専門員 塩崎雄司
10	悪質商法撃退講座	大分県消費生活・男女共同参画プラザ
11	折り紙教室 居合演武	中津留 弘 (津久見剣道連盟)
12	ストレッチ体操・ダンス	村上珠美
13	フラダンス教室	服部咲枝
14	高齢者の財産管理	鳥越徹（弁護士）
15	唄・踊り・劇・フラダンス	友情の会
16	ハーモニカ演奏で歌おう	日名子正嗣
17	健康づくり	日本3B体操協会平川千恵子
18	知って得する電気のはなし	九州電力(株)佐伯営業所
19	ノルディックウォーキング体験	インストラクター井戸川幸雄
20	ハワイアン・フラ	エンジョイつくみ
21	護身・空手による健康体操	山崎豊
22	はつらつ体操	しらうめ福祉会職員
23	いつでも元気な津久見市	介護老人保健施設サテライトみなみ
24	中国変面と手品	佐藤寛倫（ミスターシュガー）
25	マジック	上田治美
26	医療、福祉、災害全般	大分赤十字病院
27	尺八演奏 他	津久見尺八の会



（中津留弘氏）



（音楽友の会）

28	食育	NPO法人日本食育協会山口幸代
29	健康講話	市民健康管理センター
30	音楽全般	津久見音楽友の会
31	笑いヨガ	大分笑いヨガクラブ モジュンダル由美子
32	吹奏楽演奏	SORIN BRASS
33	認知症サポーター養成講座	地域包括支援センター社協職員
34	体操☆レクリエーション	社会福祉協議会職員
35	軽スポーツ教室	

○有料登録団体（個人）

社協ふれあい出前講座メニュー	
講座内容	講師
正しい薬の飲み方	NPO法人お薬研究会
県南落語	県南落語組合
スポーツ吹矢体験	日本スポーツ吹矢協会津久見支部

○登録頂いた講師の方を派遣し出前講座を行ったケース（19ケース）※敬称略

日付	団体名	講師名
5月29日	太平洋セメントOB会	吉四六話し 広田平作氏
5月31日	田ノ浦サロン	演奏 音楽友の会
6月11日	日見サロン	中国変面・手品 ミスターシュガー氏
6月17日	徳浦サロン	演奏 音楽友の会
7月12日	千怒6部サロン	体操 内田弘美氏
7月18日	長泉寺 華頂婦人会	体操 内田弘美氏



(ミスターシュガー氏)



(友情の会)

日付	団体名	講師名
8月19日	徳浦サロン	吉四六話し 広田平作氏
9月4日	じゃんけんぽん	読み聞かせ ボランティアたんぼぼ
9月6日	入船サロン	中国変面・手品 ミスターシュガー氏
9月8日	岡町町内会	演奏 音楽友の会
9月13日	宮本サロン	手品 上田治美氏
9月20日	田ノ浦サロン	フラダンス エンジョイツクミ
9月23日	グループホーム優美	演奏 音楽友の会
9月26日	釜戸地区	手品 上田治美氏

日付	団体名	講師名
10月31日	津久見市役所OB	手品 上田治美氏
11月5日	ライフホームやわらぎ	中国変面・手品 ミスターシュガー氏
12月16日	徳浦サロン	体操 内田弘美氏
2月6日	千怒6部サロン	中国変面・手品 ミスターシュガー氏
2月17日	徳浦サロン	中国変面・手品 ミスターシュガー氏

⑥障がい者交流事業（ふれあいバス旅行）

障がいのある方の中には、地域の中で交流する機会や外出の機会が少なく、生活状況が近所の方でも把握できない方がいます。このような状況の方々と接すると、表面化していない様々なニーズが潜んでいることに気付かされる場合があります。

社協では、この交流事業をとおして障がい者の社会参加の促進とさまざまな方々との交流の場の提供、ニーズの把握等に努めています。

令和元年度：ゆふいん散策 参加者31名



⑦福祉施設・事業所等連絡会の開催

津久見市福祉施設・事業所等連絡会

多くの高齢者や障がい者の施設や福祉の仕事をしている事業所があります。「津久見市福祉施設事業所等連絡会」とは、こうした施設や事業所の関係者が集まって、情報交換や意見交換をする場です。施設のある地域の人々はもちろん、多くの市民に施設の存在を知っていただき、施設同士でネットワークを組んで、津久見市の福祉の向上を目指します。



（福祉施設事業所連絡会）

（参加施設事業所：高齢者施設事業所16、障がい者施設事業所5）

開催日	協議内容
第1回令和元年9月25日	①「働き方改革について」 社会保険労務士 後藤京子 氏 ②つくみ困りごと支援センターの活動について 代表 高橋和希 氏 ③長寿支援課より事業説明 ④社会福祉課より事業説明 ⑤社協より事務連絡 ・福祉バスの運行について

⑧関係機関団体ネットワーク会議

㊤区長・民生委員児童委員と介護予防推進員との合同研修会の開催

地区社協活動を推進するうえで、まず、区長・民生委員児童委員・介護予防推進員の三者の連携強化は欠かせません。この連携強化を図るために、三者の合同研修会を下記のとおり開催する予定でしたが、コロナウイルス感染防止のため、中止といたしました。

2月27日	9:30~11:45	中田、西ノ内、八戸、青江、川内、徳浦	→ 中止
3月 3日	13:30~15:45	千怒、宮本、川上、畑、長目	→ 中止
3月 5日	9:30~11:45	岩屋、彦ノ内、警固屋、入船、堅浦	→ 中止
3月10日	9:30~11:45	無垢島、日見、福良、網代、江ノ浦 赤崎、四浦全区、保戸島全区	→ 中止

⑥その他ネットワーク会議

- ボランティア協力校連絡会議（4月29日）
- ボランティア連絡協議会役員会（5月19日）
- 津久見小学校区連絡会（6月11日・2月5日）
- 千怒小学校区連絡会（7月9日）
- 堅徳小学校区連絡会（6月19日・11月15日・2月12日）
- 青江小学校区連絡会（6月13日）
- 福祉施設事業所連絡会（9月25日）



⑨ベンチ設置事業（共募・歳末配分）

津久見市建築士会の協力により、地区集会所、バス停留所にベンチを設置します。

令和元年度設置台数10台
共同募金による配分（中田区・千怒区
宮本区・入船区・青江区・川内区・
畑区、長目区、日見区）



（日見区）



（畑区）



（長目区）

⑩地域助成事業（公募による配分）

市民の皆様から寄せられた共同募金を財源に、市内の福祉団体やボランティアグループ、自治会（地区社協）等の地域団体、社会福祉法人及び特定非営利活動法人等が行う市民の福祉向上のための取り組みに、助成を行います。

令和元年度助成団体(各5万円)

- ・彦ノ内区・警固屋区・身体障害者福祉協議会・修繕ボランティア

5. ボランティア活動の推進

①ボランティアの登録及び支援事業：個人57名、グループ 24団体（459名）

グループ名	活動内容
・手話サークル「小鳩」	聴覚障がい者の手話通訳や交流活動
・ボランティアグループ「ふれあい」	施設での利用者の介助や行事介助等
・ボランティアグループ「のぎくの会」	各種イベント等の手伝い・福祉施設での作業手伝い等
・ボランティアグループ「ふれあい電話」	一人暮らし高齢者に対し、電話による安否確認
・ボランティアグループ「あけぼの会」	視覚障がい者の支援活動や交流活動
・図書館ボランティア「たんぽぽ」	図書館での朗読奉仕（子どもへの本の読み聞かせ）
・環境保全ボランティア「子ねずみ」	市内の海岸線、国道沿線、公園等の清掃活動
・修繕ボランティア	高齢者・障がい者世帯に訪問し、家屋の簡易補修
・つくみ環境美化グループ	市内の公園や周辺の植樹・緑化活動、清掃活動
・ボランティアグループ「りんり」	公園やイベント会場の清掃活動
・たけの子の会	小学校の書写時に硬筆・毛筆の指導
・NPO法人ピースワーク	児童の自然体験学習他
・津久見音楽友の会	病院、施設等への訪問演奏
・収集ボランティア鈴の会	古切手や使用済みテレホンカードなどを中心に収集し福祉団体等に送付
・食生活改善推進協議会	食生活の改善指導等
・くすの木サークルパパーズ	小学校の児童のために、環境整備の手伝い（津小）
・くすの木サークルマザーグース	小学生に本の読み聞かせを行う（津小）
・おたすけ会	保戸島地区の高齢者・病人の通院、入院介助
・地域女性団体連合会	イベント運営支援など
・津久見高校ボランティア同好会	施設等での交流ボランティア
・友情の会	唄・踊りなどでふれあい交流
・シルバードライバー協議会	交通安全運動の推進
・野の花会	福祉施設への支援
・SORIN BRASS	吹奏楽演奏

（個人登録）

・服のリフォーム（2名）	高齢者や障がい者の服のリフォームを行う
・音訳ボランティア（6名）	市報や社協だよりをテープに音訳編集し、視覚障がい者世帯に郵送
・夏のボランティア体験月間（14名）	夏休みのボランティア体験月間をきっかけに登録
・出前講師個人登録（21名）	自分の技能・技術・資格を生かし講師登録
・出前講師団体登録（12団体）	団体として、講師登録
・その他（13名）	自分の出来る時間に活動

②ボランティアの斡旋状況：ボランティアを必要とする方への派遣を行いました。

令和元年度斡旋実績：年39回

ボランティア斡旋状況内訳		
ボランティア活動内容	件数	備考
・修繕ボランティアとして	5件	社協を介さず直接活動しているものは、計上しておりません。
・ふれあい出前講師として	19件	
・福祉体験学習講師として	12件	
・ガイドボランティア	1件	
・イベントの手伝い	2件	



(音楽友の会)



(ピースワークつくり)



(環境美化グループ)



(修繕ボランティア)

③ボランティアコーディネーターの設置

ボランティアコーディネーターを設置し、ボランティアに関する調査、育成・発掘、情報収集や発信を柱として運営を行っていきます。



○ボランティア活動に関する相談件数

相談内容	相談件数		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
登録に関する事	39件	27件	32件
派遣に関する事	24件	30件	28件
活動に関する事	64件	88件	69件
個人・団体等の支援及び意見交換	45件	103件	98件
情報提供・発信に関する事	38件	44件	44件
連絡協議会に関する事	19件	21件	18件

その他相談件数	20件	29件	40件
計	249件	342件	329件

④ボランティア協力校関係

ボランティア協力校とは、学校関係者と社会福祉関係者及び地域住民が協力し合って計画的・系統的に子ども達にボランティア活動の場や世代間交流の機会を提供し、その実践体験を通して「優しさ」「いたわり」「行動する勇気」と「自主性」を養い、社会奉仕と社会連帯の豊かな心をもつ人間として育てることを目的として創設された事業です。

令和元年度の活動協力校：市社協指定8校（小・中・高校）

令和元年度 ボランティア協力校活動実績

	津久見小学校	青江小学校	堅徳小学校
活 動 内 容	<ul style="list-style-type: none"> 福祉体験学習 美化運動 地域の方々との交流事業 花いっぱい運動 その他 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉体験学習 美化作業 うばめ園、青葉会との交流 その他 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉体験学習 地域の方々との交流事業 施設イベントの手伝い クリーンアップ清掃運動 その他
	千怒小学校	保戸島小学校	第一中学校
	<ul style="list-style-type: none"> 福祉体験学習 施設訪問による交流 ふれあいオリエンション 一人一鉢花育て運動 その他 	<ul style="list-style-type: none"> 施設訪問による交流 地域清掃活動 施設での交流事業 学習発表会 その他 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉体験学習 あいさつ運動 歳末助け合い募金活動 地域高齢者へ年賀状 その他
	第二中学校	保戸島中学校	津久見高校
	<ul style="list-style-type: none"> 福祉体験学習 地域清掃活動 ペットボトルキャップ回収 花いっぱい運動 地域の盆踊参加 その他 	本年度休校	<ul style="list-style-type: none"> 清掃活動 ふるさと振興災ボランティア 24時間テレビ募金協力 JICA国際協力講義 共同募金活動 その他

○福祉体験学習について

（社協職員と協力校とで福祉体験学習のメニュー作りを行い取り組みました。）

①堅徳小学校で福祉体験学習

「福祉」について考える学習として4、5年生が取り組みました。

- 障がいについての学習会（9月26日 4年生18名）
サポートセンター竹とんぼの相談員より、「障がいについて」の説明があり、障がいについての理解を深めました。



- 認知症サポーター養成講座（11月7日 5年生他 17名）
認知症キッズサポーター養成講座を開催しました。



- 高齢者疑似体験学習（11月7日 4年生 17名）
高齢者疑似体験学習を行いました。
体に高齢者疑似体験セットの装具をつけおじいちゃん、おばあちゃんになった子どもたちは、封筒を開けてみたり、本を読んだり、さまざまな体験を行いました。



- 絵手紙教室（12月5日 4年生 18名）
車いすで生活をしている原野彰子さんを講師に招いて絵手紙体験教室を行いました。



⑥津久見小学校で福祉体験学習

「福祉」について考える学習として1～6年生が取り組みました。

- 高齢者疑似体験教室（6月17日 4年生 34名）
高齢者疑似体験学習を行いました。
体に高齢者疑似体験セットの装具をつけおじいちゃん、おばあちゃんになった子どもたちは、封筒を開けてみたり、本を読んだり、さまざまな体験を行いました。



- 高齢者施設研修（7月8日 4年生 34名）
6月の高齢者疑似体験学習を行った後、実際に入所をされている高齢者と直接接し、理解を深めました。



- 手話教室（7月25日 1～6年児童クラブ 32名）
大分県聴覚障害者センターから講師を招いて、手話学習会を行いました。



- 認知症サポーター養成講座（10月11日 親子4年生 55名）
認知症キッズサポーター養成講座を開催しました。



- 講話・アイマスク体験（11月21日 4年生 34名）
視覚に障がいのある麻生恒雄さんを講師に招き、パラリンピックに出場した時の話やユニバーサルデザインなどの話を聞きました。



- 絵手紙教室（11月22日 2年生 61名）
車いすで生活をしている原野彰子さんを講師に招いて絵手紙体験教室を行いました。



- 障がいについて研修（12月13日 4年生 34名）
サポートセンター竹とんぼの相談員より、「障がいについて」の説明があり、障がいについての理解を深めました。



- 車いすバスケットボール（12月20日 4年生 28名）
車いすバスケットの選手たちと交流会を行いました。事前に準備した質問に選手たちが答えてくれた後、車いすバスケットの体験を行いました。



◎青江小学校で福祉体験学習

「福祉」について考える学習として4年生が取り組みました。

- 高齢者疑似体験教室（7月10日 4年生 16名）
高齢者疑似体験学習を行いました。体に高齢者疑似体験セットの装具をつけ高齢者になった子供達は、封筒を開けてみたり、本を読んだり、様々な体験を行いました。



- 認知症サポーター養成講座（12月11日 4年生 15名）
認知症キッズサポーター養成講座を開催し、認知症への理解を深めました。



- 車いすバスケットボール（1月28日 4年生 15名）
車いすバスケットの選手たちと交流会を行いました。事前に準備した質問に選手たちが答えてくれた後、車いすバスケットの体験を行いました。



◎千怒小学校で福祉体験学習

「福祉」について考える学習として4年生が取り組みました。

- 認知症サポーター養成講座（6月7日 4年生 30名）
認知症キッズサポーター養成講座を開催し、認知症への理解を深めました。



- 高齢者疑似体験（6月20日 4年生 30名）
高齢者疑似体験学習を行いました。体に高齢者疑似体験セットの装具をつけ高齢者になった子供達は、封筒を開けてみたり、本を読んだり、様々な体験を行いました。



- 講話・アイマスク体験（10月11日 4年生 29名）
視覚に障がいのある長谷川真司さんを講師に招き、盲学校で過ごしていた当時の様子や普段の暮らしの中で不便な事についてのお話をしていただき、その後、アイマスク体験を行いました。



● 障がいについて研修（10月28日 4年生 29名）

サポートセンター竹とんぼの相談員より、「障がいについて」の説明があり、障がいについての理解を深めました。



● 車いす体験（11月12日 4年生 29名）

車いすを使って福祉体験学習を行いました。



● 絵手紙教室（11月19日 4年生 29名）

車いすで生活をしている原野彰子さんを講師に招いて絵手紙体験教室を行いました。



● 車いすバスケットボール（12月20日 4年生 29名）

車いすバスケットの選手たちと交流会を行いました。事前に準備した質問に選手たちが答えてくれた後、車いすバスケットの体験を行いました。



◎第一中学校で福祉体験学習

「福祉」について考える学習として2年生が取り組みました。

● 講話・アンプティサッカー体験（9月30日 2年生 90名）

九州バイラオール代表の加藤誠さんを講師に招き、講話とアンプティサッカー体験の学習を行いました。アンプティサッカーとは片脚を切断した方たちがクラッチ（医療用の杖）をついてサッカーを行う競技です。



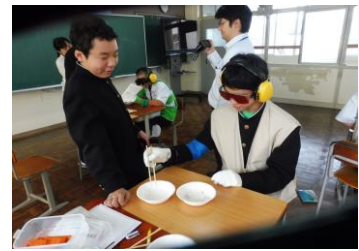
● 障がいについて研修（10月10日 2年生 10名）

サポートセンター竹とんぼの相談員より、「障がいについて」の説明があり、障がいについての理解を深めました。



● 高齢者疑似体験・アイマスク体験（10月11日 2年生 10名）

高齢者疑似体験学習を行いました。
体に高齢者疑似体験セットの装具をつけ
高齢者になった子供達は、封筒を開けて
みたり、本を読んだり、様々な体験を行
いました。



④ 第二中学校で福祉体験学習

「福祉」について考える学習として1年生が取り組みました。

● 絵手紙教室（6月10日 1年生 40名）

車いすで生活をしている原野彰子さんを
講師に招いて絵手紙体験教室を行いました。
た。



● 車いすラグビー体験（7月9日 1年生 40名）

Fukuoka DANDELIONを講師に招き、
車いすラグビー体験を行いました。体験
を通じて選手の考え方や生き方を学び、
ノーマライゼーションに対する理解を深
める学習を行いました。



● 同和教育（2月21日 1年生 40名）

宇佐市在住の山末博俊さんを講師に招
き、同和教育を受けました。お話では
これまでの体験をマンドリンやギター演
奏を交えながら語り、未だに少なくら
ない差別の現状について話してくれまし
た。子ども達にとって心のバリアフリー
を考える良い機会となりました。



⑤ 夏のボランティア体験学習

夏休みを利用した、ボランティアな福祉活動を体験することにより、自分たちが住む地域社会の現状やその中で行われる福祉活動に対する理解と、ボランティア活動への積極的な参加を促進するものです。

令和元年度実績：5施設において14名の高校生・専門学校生・一般の方々がボランティア体験を行いました。（30年度は28名参加）



（保育園にて）



（介護施設にて）

6. 災害に関する取り組み

大規模災害や局地的豪雨災害などによって被災した地域の復興や被災者支援における災害時のボランティア活動の重要性を認識し、災害ボランティア事前登録や育成、さらには活動環境の整備を進めました。

①災害ボランティアの事前登録及び育成に関すること

市内外で起こる大規模災害から局所的な災害に備え、万が一災害が起きたときに迅速かつ効果的に復旧復興活動が行えるように事前の災害ボランティア登録制度を進めました。また、平常時から登録したボランティアの研修、情報交換などを行いました。

◆災害ボランティアの事前登録者

団体登録 … 9団体（423名）

個人登録 … 2名

※その他災害ボランティア 8名（被災地へ直接支援）

②災害ボランティアセンターの体制整備に関すること

災害ボランティアセンターの運営を支援するボランティア関係機関、団体、企業、NPO、行政などが連携し、被災者ニーズに即し、円滑に支援できる体制づくりを進めるために、災害ボランティアネットワーク連絡会を設置し、情報交換や研修などを行いました。

◆災害ボランティアネットワーク連絡会参加団体

参加団体 … 10団体

- ・大分教区カリタス カトリック津久見教会
- ・グリーンコープ生活協同組合おおいた
- ・天理教大分教区被災者支援チーム
- ・津久見市防災士会
- ・津久見市民生委員児童委員協議会
- ・大分県建築士会 津久見支部
- ・中部振興局 総務部第1班
- ・津久見市コミュニティ防災課
- ・津久見市職員労働組合
- ・うみかぜラヂオ

◆災害ボランティアネットワーク連絡会の開催状況

4月26日 災害ボランティアネットワーク連絡会

月 日	参加者	協議内容
4月26日	11名	・佐賀県大町町災害ボランティアセンターへ職員派遣の状況報告 ・津久見市災害ボランティアセンターの新たな課題協議

③津久見市の災害ボランティアセンターの取り組みについて視察受入

日 時	視察受入団体	参加人数	場 所
6月11日	下堅田地区社協	17名	交流センター
2月10日	龍谷大学他	12名	交流センター

④被災地支援として職員派遣

◆佐賀県大町町社協へ支援

令和元年9月30日～10月4日（5日間） 1名

令和元年10月4日～10月8日（5日間） 1名

7. 県社協よりの受託事業

①日常生活自立支援事業（旧地域福祉権利擁護事業）

判断能力の不十分な認知症高齢者、知的障がい者または精神障がい者等で、かつ、親族等の援助が得られない方に対して、福祉サービスの利用手続きやそれに伴う日常的な金銭管理等を行い、在宅や施設・病院における日常生活を支援する事業です。

<利用対象者>

判断能力に不安のある認知症高齢者、知的障がい者または精神障がい者等で、かつ、親族等の援助が得られない方

<支援サービス内容>

- ◆福祉サービスの利用援助
- ◆福祉サービスに関する情報提供
- ◆福祉サービス利用料の支払い援助
- ◆日常的な金銭管理サービス
- ◆年金、手当などの受領確認
- ◆日常的な生活費の払い出し、預け入れ
- ◆医療費、公共料金、家賃等の支払い等
- ◆書類、通帳、保険証書、実印、銀行印等の預かりサービス

<利用料>

①専門員による訪問相談、支援計画の作成	無 料
②契約後の生活支援員による援助 ・福祉サービスの利用のお手伝い ・日常生活に必要な手続きのお手伝い ・日常的なお金の出し入れのお手伝い	1回あたり1,330円
③大切な書類などのお預かり	1カ月あたり500円

<申込方法>

津久見市社会福祉協議会に備えてある利用申込書により申請していただきます。事前にご本人と面会し、専門員が相談調査を行います。

<例えば> 通帳や印鑑の紛失や、家賃や新聞代の支払いを忘れてしまうことが多くなり、遠くに住む家族も心配になっていたAさん（ひとり暮らし高齢者）の場合。あんしんサポートセンターの生活支援員が、月に2回の訪問（回数は利用者ごとに話をして決定）をする中で、家賃や新聞代の支払い、生活費の支払いを支援して月々の滞納をなくし、通帳や印鑑については、あんしんサポートセンター内の金庫にて保管することで紛失を防ぐこととなった。

相談、契約の状況							相談内容
利用者区分	相談件数			契約件数			
	H29	H30	R1	H29	H30	R1	
認知症高齢者	4	4	1	1	0	0	・日常の金銭管理

知的障がい者	2	2	2	0	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービスの利用について ・今後の生活設計等について ・事業についての内容照会
精神障がい者	2	2	3	0	1	2	
その他	1	0	0	0	0	0	
計	9	8	6	1	3	4	

*令和元年度末契約件数：9件（平成30年度8件）

内訳（認知症2件、知的障がい者5件、精神障がい者2件、解約者3件）

②生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金貸付制度は、他の貸付制度が利用できない所得の低い世帯、障がい者や高齢者世帯に対して、その世帯の生活の安定と経済的自立を図ることを目的に、資金の貸付と必要な相談支援を行います。

<貸付対象者>

- ◆ 低所得世帯
世帯の収入が本事業の収入基準（生活保護費の1.8倍以内）を超えない世帯
- ◆ 障がい者世帯
身体・知的・精神等の障害者手帳の交付を受けた方の属する世帯
- ◆ 高齢者世帯
日常生活上、療養または介護を必要とする、おおむね65歳以上の高齢者が属し、その収入が本事業の収入基準を超えない世帯

<貸付金の種類>

- ◆ 福祉資金
低所得者、障がい者又は高齢者の世帯に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことで、経済的自立及び在宅福祉、社会参加の促進を図ることを目的とした貸付制度です。
- ◆ 教育支援資金
低所得者世帯を対象に、学校教育法に規定する高校、短大、大学、高等専門学校に就学するために必要な経費を無利子で貸付する制度です。
- ◆ 総合支援資金
失業や減収により生計維持が困難になり、生活再建のための継続的な相談支援を必要とする世帯に対して資金を貸し付ける事で世帯の自立を支援する制度です。（原則、生活困窮者自立支援窓口での相談が必要です。）
- ◆ 緊急小口資金
傷病、賃金の未払い等の原因により、一時的に著しい生活困窮に陥ったときに貸付する制度です。
- ◆ 不動産担保型生活資金
住み慣れた我が家で老後を送れるように、所有しているお住まいの土地・建物を担保として生活資金を貸付する制度です。（土地評価額1000万円以上）

<貸付決定>

貸付は、大分県社会福祉協議会が審査を行います。審査結果によっては、資金の貸付ができない場合があります。

相談延件数			相談内容
平成29年度	平成30年度	令和元年度	緊急小口資金・教育支援資金・総合支援資金など
85件	50件	85件	

資金種別	貸付件数		
	H29	H30	R1
教育支援資金	0件	1件	0件
福祉資金（福祉）	2件	0件	2件
福祉資金（小口）	2件	0件	2件
総合支援資金	0件	0件	1件
新型コロナ特例貸付			1件
計	4件	1件	6件

令和元年償還完了等件数	
種 別	件 数
償還完了	4件
償還免除	0件
延滞利子免除	0件
申請却下	1件



○貸付の累計件数（本年度契約分含む）

資 金 種 別		累計件数
福祉資金	福祉費	7件
	緊急小口資金	5件
教育支援資金		6件
総合支援資金		3件
離職者支援資金		1件
計		22件

③フードバンクおおいた事業

フードバンクとは、賞味期限内でまだ十分食べられるにもかかわらず、箱が壊れたり、印字ミスなどで販売できない食品などを、企業や家庭から寄付してもらい、食べ物に困っている人や福祉施設（団体）などに届ける事業です。

【提供していただきたい食料品】：常温で長期保存（1ヶ月以上）が可能で簡単なもの
 ※食料品の確保は、県社会福祉協議会が行っています。（県社協より市社協へ配布）
 ※食料品の支援は、個人に対しては、基本的に1回限りです。

令和元年度実績

食料支援を行ったケース

利用者区分	支援件数			
	H28	H29	H30	R1
高齢者一人暮らし男性	1	4	2	3
高齢者一人暮らし女性	0	0	0	1
高齢者夫婦世帯	0	0	1	1
高齢の親と子供世帯	1	1	0	0
母子世帯	1	3	0	0
50代男性一人暮らし	0	1	3	3
50代女性一人暮らし	0	1	0	0
40代一人暮らし男性	0	0	0	1
40代夫婦と子供の世帯	0	0	0	1
計	3	10	6	10



8. 津久見市よりの受託事業

①地域包括支援センター社協

地域における高齢者総合相談・支援、介護予防マネジメント、包括的組織的マネジメントを担う機関として事業の充実に努めました。

※包括支援センターの実績は別紙にて

②障がい者の相談窓口

障がい者指定相談事業所サポートセンター竹とんぼとして、障がい者や家族、介護者等からの相談に対し、必要な情報提供やサービスの利用援助等を行いました。

※竹とんぼの実績は別紙にて

③生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の活動推進

◆生活支援コーディネーター設置の背景

国は増加する介護に関する予算を少しでも削減したいという狙いで、介護保険制度の見直しを行いました。その中で、新たに制度設計され仕組みの一つが、この生活支援コーディネーターの設置です。高齢の方が、健康で地域で生活するためにはいろいろな課題の改善が必要となります。日常生活の維持に必要な買い物や掃除・外出支援、高齢者が生きがいをもって参加できる活動がこれまで以上に必要となり、お互いに支え合う多様な活動の充実が不可欠となります。このような、高齢者が抱える課題を少しでも解決する仕組みづくりを行政関係機関と協力して整備することを目的として、生活支援コーディネーターの設置が行われました。

◆生活支援コーディネーターの役割

役 割	<ul style="list-style-type: none"> ①地域ニーズと資源の状況の見える化、問題・課題等の提起 ②多様な主体への協力依頼（働きかけ） ③関係者とのネットワーク化の推進 （連携の体制づくり、情報共有等） ④生活支援の担い手の養成、地域に不足するサービスの開発 ⑤地域の支援ニーズ（課題）とサービス提供主体とのマッチング
配置状況	地域班2名で担当

27年度の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の生活課題把握と分析、市内社会資源の把握 <ul style="list-style-type: none"> ①地区懇談会による課題把握 ②市内要支援1・2の方のサービスプラン分析（課題把握） ③社会資源の把握（サロンマップ・体操教室の把握）
28年度の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○懇談会等で把握した地域課題を解決するしくみづくりの提案 つくみん安心見守りネットワーク <ul style="list-style-type: none"> ・市内の事業所（新聞、郵便、ガス、水道等）と見守り協定 ・市内の居宅介護支援事業所と協定（入所入院情報を民生委員へ）
29年度の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○生活支援に関する事業企画案の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生活課題をボランティアにより支援する仕組みの検討 ・新たな集いの場の検討

30年度の 取り組み	○生活支援に関する事業の立ち上げ <ul style="list-style-type: none"> ・つくり寄りごと支援センター立ち上げ準備 ・コミュニティ食堂立ち上げ
---------------	--

●令和元年度の取り組み

(a) 寄りごと支援センターの運営支援

運営主体…ボランティアグループ「みんなのサポートセンター」

目的…暮らしの中でのちょっとした寄りごとのある人（利用者）と、ちょっとしたお手伝いのできる人（協力者）が、ご近所さん同士で行う、有料での助け合い活動です。

支援内容…	支援内容	利用者負担金	協力者報酬	センター運営費
	ゴミ出し	1回 100円	1回 50円	1回 50円
	電球交換	1回 100円	1回 50円	1回 50円

活動実績…7名の一人暮らし高齢者へ週一回程度ゴミ出しの支援を行った。

協力者登録数…67名（令和2年3月31日現在）

(b) コミュニティーカフェ・コミュニティ食堂の運営支援

目的…より多くの人たちの社会参加を促すとともに地域からの孤立を防ぐため、身近で気軽に参加でき、ふれあいを深めることが出来る場所や機会の充実を図る取り組みです。

(1) コミュニティーカフェ

カフェ名	場所	回数	一回の人数	備考
じじばばハウス	空き店舗(徳浦)	月2回	20名程度	地区住民対象
ミニ喫茶いっぷく	地区公民館(堅浦)	月1回	30名程度	地区住民対象
ホットハートカフェ	地区公民館(彦ノ内)	年2回 (サロン時に併設9回)	90名程度	地区住民対象
井戸端会議	地区公民館(赤崎)	月1回	13名程度	地区住民対象
田ノ浦カフェ	地区公民館(赤崎)	月1回	6名程度	地区住民対象
カフェsmileスマイル	地区公民館(志手町)	月1回	5名程度	主に障がい者対象

(2) コミュニティー食堂

食堂名	場所	回数	一回の人数	備考
みんなの食堂	カトリック教会	月2回 (夏・冬・春休みは、週一回)	子ども20名 高齢者4名	主に児童・高齢者等対象

9. 在宅福祉サービス事業

①福祉機器の貸出事業

○貸出し状況

福祉機器名	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
電動ベット	6	3	4	7	3	4
車イス	41	50	41	48	52	65
ポータブルトイレ	7	15	17	9	9	11
ベットマット	0	0	0	0	0	0
介助バー・入浴グリップ	1	0	0	0	0	0
手押し車	0	0	0	0	0	0
エアーマット	在庫なし	在庫なし	0	0	0	0
バスボード	0	0	0	0	0	0
シャワーチェア	3	0	0	1	0	2
ベット柵	0	0	0	0	0	0
歩行器	1	4	0	0	0	0
松葉杖・杖	1	0	0	0	0	0
簡易浴槽	1	0	1	0	0	0

<例えばのケース>

- (1)施設や病院に入所や入院をしており、一時的に在宅へ戻る場合
- (2)介護保険を利用中であるが、旅行に行くため一週間のみ車椅子を借りたい。
- (3)介護保険を申請したが、認定結果が出るまでの間、ベットを借りたい。



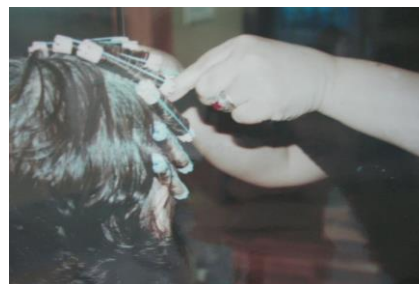
(車イス)



(ポータブルトイレ)

②訪問理美容サービス

在宅で寝たきりの高齢者や障がい者に対して、理美容師を派遣して整髪を行いました。
※社協より、理美容師に出張料を支払い、利用者は理美容の店内料金を理美容師に支払います。



年度	実利用者数	延べ利用回数
平成25年度	4名	13回
平成26年度	5名	10回
平成27年度	4名	10回

平成28年度	7名	12回
平成29年度	4名	10回
平成30年度	5名	13回
令和元年度	7名	20回

③ふれあい電話

ボランティアにより、一人暮らしの高齢者世帯へ、月2回電話による安否確認の声かけを行いました。（電話は社協より利用者宅へ行きます。）



年度	実利用者数
平成27年度	9名
平成28年度	8名
平成29年度	8名
平成30年度	8名
令和元年度	8名

10. 啓蒙啓発活動

- ①広報紙「たちばな」発行：年4回発行
- ②ホームページ、フェイスブックの運用
- ③市社会福祉大会の開催：式典・体験発表・講演会

11. 共同募金活動の推進

①共同募金運動

県共同募金会の支会として、募金活動を行いました。

令和元年度実績	3,310,065円
戸別募金	2,571,200円
法人募金	271,000円
職域募金（ボールペン）	402,375円
職域募金（バッチ）	20,500円
グルメ散歩募金	14,660円
自販機募金	19,326円
その他募金	10,996円
預金利息	8円



②歳末たすけあい募金運動

令和元年度募金実績	1,728,487円
-----------	------------



令和元年度配分実績

配 分 先	配分金額
要保護・準要保護該当小中学生	309,000円
地域交流事業（みんなのサポートセンター）	20,000円
地域交流事業（うばめ園）	80,000円
地域交流事業（ちちんぷいぷいあけぼの）	20,000円
福祉拠点整備事業 （西ノ内、警固屋、堅浦、日見、福良、四浦5）	600,000円

③生活困窮者支援制度（本会独自制度）

この制度は、歳末助け合い募金を財源とし、緊急的に金銭による支援が必要な世帯で、生活保護制度や生活福祉資金貸付制度等、他法他施策の利用が難しい生活困窮世帯へ現金の貸付を行うことにより、当該世帯の生活の安定と自立を支援する事業です。

令和元年度貸付実績・・・3件（前年度貸付実績1件）

12. その他事業

①民生委員児童委員協議会の活動支援（事務局）



（青江小学校区連絡会）

民生児童委員・主任児童委員・学校
・社協職員とで意見交換



（専門部会研修会）

災害時個別支援計画についての研修

<視察の受け入れ>

○蒲江地区民児協が視察 10月24日（津久見市民児協対応）



（蒲江地区民児協受け入れ）



②その他福祉関係団体への活動支援

… 身体障がい者福祉協議会・盛人クラブ連合会・母子寡婦福祉会
 子ども会育成連絡協議会・臼津保護司会津久見分区・遺族会
 更生保護女性会・ボランティア連絡協議会・各ボランティアグループ
 各ボランティア協力校・社会を明るくする運動実施委員会
 市内福祉施設事業所等連絡会・県南福祉フォーラム津久見

③福祉バスの運行

福祉関係団体の研修会・大会参加時の送迎等を行いました。（乗車定員28名）

利用団体名	運行回数		
	H29	H30	R1
ふれあいサロン	29日	51日	47日
高齢者学級	4日	7日	3日
ボランティア登録団体	9日	15日	7日
市役所行事	5日	16日	7日
社協行事（サロン以外）	3日	3日	6日
福祉関係団体	1日	1日	1日
福祉施設	7日	5日	3日
地区社協	7日	6日	6日
盛人クラブ	3日	10日	3日
保育所	0日	0日	0日
民生委員児童委員協議会	0日	3日	1日
遺族連合会	1日	2日	3日
学校関係	0日	0日	1日
その他団体	5日	6日	3日
計	74日	125日	91日



平成22年度	運行日数144日
平成23年度	運行日数145日
平成24年度	運行日数156日
平成25年度	運行日数153日
平成26年度	運行日数132日
平成27年度	運行日数117日
平成28年度	運行日数109日
平成29年度	運行日数74日
平成30年度	運行日数125日
令和元年度	運行日数91日

